



Vol. 17 No. 9 Sep 2004 「札幌医科大学附属図書館図書館ニュース」改題



札幌医科大学附属図書館情報誌

SAILING

Sapporo medical university Library's Information Navigator

キャンパスライフの思い出作りを!
～協力助っ人デジカメ～

CONTENTS

連載 図書館の上手な使い方(第12回)	
デジタルカメラの使い方(第1回).....	71
Diary	
附属図書館の8月.....	74
ブックポスト	
借用資料期限内返却のお願い!!!	75
寄贈資料のお知らせ	76
開館時間変更及び休館日のお知らせ.....	78
図書館日誌	78



デジタルカメラの使い方（第1回）

1. 当館のデジタルカメラ

当館のデジタルカメラは、キャノン製 Power Shot Pro1 です。仕様の詳細は以下の URL でご覧ください。

<http://cweb.canon.jp/camera/powershot/pro1/spec.html>



写真1：Power Shot Pro1（キャノン製）

2. 何ができるの？

基本的な操作方法については、図書館までお問い合わせください。ここでは、下記項目(1)～(5)について、知って得するお役立ち情報を紹介します。

(1)撮影（静止画・動画）

記録形式を変更する！

通常、デジタルカメラで撮影した映像は、画質が低下しています。これは、映像をカメラに記録する際、自動的に圧縮作業を行っており、見た目には全く気付きませんが、画質が低下しています。撮影した映像は、JPEG形式で記録されますが、これを「RAW」という形式に指定して撮影すると、より鮮明で高品質な映像で撮影されます。この形式で記録した映像は、パソコンを使って、再度好みの

映像に加工し易くなります。なお、「RAW」への指定方法については、図書館へお問い合わせください。

夜景を撮る！

簡単な操作により、夕暮れや夜景をバックにした人物を鮮明に撮影できます。楽しいデートの思い出作りにいかがでしょうか？なお、撮影時の手ぶれ防止のために三脚をご用意することをおすすめいたします。

連続撮影する！

簡単な操作により、連続して撮影できます。シャッター速度を調節して、毎秒1画像から2.5画像の範囲で連続撮影ができます。（写真2～4参照）

動画を撮る！

簡単な操作により、動画撮影できます。撮影時間は音声付きで最大3分間です。

(2)再生

拡大表示する！（静止画）

簡単な操作により、表示させている映像を約2.5倍 約5倍 約10倍に拡大表示させることができます。

音声メモをつける！（静止画）

簡単な操作により、一映像につき、約60秒の音声メモ（録音）をつけることができます。

動画を編集する！（動画）

簡単な操作により、不要な部分を削除し、自分好みの動画を作ることができます。

これが、「連続撮影機能」を使った作品だ！！



写真 2：右側に白いライトバンが走って来ます。



写真 3：右側から走ってきた白いライトバンが中央に写っている植木に隠れる位置まで来ています。



写真 4：右側から走ってきた白いライトバンがカメラのフレームから出て行こうとしています。

3枚とも基礎教育研究棟裏口より交流会館及び記念ホールに向かって撮影したものです。なお、これらの写真は「SAILING」編集上の都合により、画像の圧縮作業を行った結果、画質の劣化が見られます。この点は、どうぞご容赦ください。

撮影日時：平成 16 年 9 月 2 日（木）午後 0 時 50 分頃

(3)パソコンへの映像取り込み

付属のソフトウェアを使う！

ご自分のパソコンに付属のソフトウェアをインストールしてください。基本的に、この作業をしないとパソコンに映像を取り込むことができません。インストール後は、取り込んだ映像をプリントしたり、メールで添付して送ったりできます。なお、WindowsXP 或いは MacOSX (v10.1,v10.2)を使っている場合は、標準装備されているソフトウェアで映像を取り込むことができます。その際、デジタルカメラとパソコンを接続した後に、パソコン画面上に表示されるメッセージに従って処理するようにしてください。

3. 利用を希望される皆さんへ

(1) 使用上のルールを守ろう！

以上、デジタルカメラの基本的な使い方を紹介してきましたが、お使いになりたい方は、次のことを守ってご利用ください。貸出対象者は、学内利用者です。破損が生じた場合は、修理後に返却するか、現物で弁償すること。借用期間については、カウンターにご相談ください。

4.主な仕様

- (1)画素数：約 800 万画素
- (2)デジタルズーム：最大約 3.2 倍
- (3)記録媒体：コンパクトフラッシュカード
- (4)AF 方式：ハイブリッドオートフォーカス
- (5)ワイヤレスコントローラー：遠隔（1～5m）撮影・再生可能
- (6)画像記録フォーマット：

（静止画） JPEG/RAW

（動画） 画像データ：Motion JPEG
音声データ：WAVE（モノラル）

(7)大きさ：117.5×72.0×90.3mm

(8)質量：約 545 g



写真 5：基礎教育研究棟横駐車場

この写真も画像の圧縮作業を行った結果、画質が劣化しています。撮り立ての鮮明な映像を是非、ご自分の眼でお確かめください。

5. その他

Power Shot Pro1 について、更に詳しく知りたい方は以下の URL をご覧ください。
<http://cweb.canon.jp/camera/ps-pro1/index.html>

今回は Power Shot Pro1 の持つ機能及び特徴を紹介してきました。次回は、この操作方法を紹介する予定です。

（図書管理係 池崎 康）

附属図書館の8月

皆さん、夏休みはいかがお過ごしになりましたか？ 図書館の8月は「図書館日誌」(p78)でも紹介していますが、いろんな出来事がありました。ちょっとご紹介しましょう。

オープンキャンパス図書館見学【8月4日(水)】

本年もオープンキャンパスが行われ、昨年を越える医学部160名、保健医療学部300名もの大勢の本学志望者が訪れました。図書館見学では医学部14グループ、保健医療学部10グループに分かれ、図書館職員が各々1名案内につきました。1グループわずか20分程度の慌しい見学ではありましたが、IDカードによる入館、土・日・祝日を含めた24時までの職員不在による開館に驚きの声をあげ、コンピュータによる情報検索や外国雑誌の並んでいる書架に目を見張り、さらに閲覧機でノートパソコンを使って学習している学生さんの姿に興味津々の様子でした。「ぜひ札幌医大を受験したい」という嬉しい声が相次ぎました。

保護者懇談会図書館見学【8月27日(金)】

保護者懇談会の図書館見学には約180名の方が訪れました。5グループに分かれ、順次図書館を案内しましたが、明るい閲覧席と最新の情報設備、快適な学習環境に安心されたようです。特に卒業してからも学生時代と同様に図書館を利用できることや、卒業後どこにしようとも生涯サポートする体制ができていることに強い関心を示されていました。旧図書館をご存知の父兄からは「隔世の感がする」との声や、「息子が、一般書や医学書が少ないと話していました」という、ちょっと耳の痛いお話もありました。

図書館実習生の受け入れ【8月23日(月)～25日(水)】

昨年に引き続き本年も藤女子大学図書館情報学課程実習生6名が図書館で実習を行いました。今年は3日間という短い期間ではありましたが、図書館業務の一端に触れてもらいました。特に3日目は図書館の蔵書点検整理日にあっており、4階の図書移動を職員と一緒に行いました。通常の実習ではあまり経験できない貴重な経験ではなかったかと思えます。緊張の3日間ではあったかと思えますが、将来どこかの図書館の現場でがんばってくれたらと願っています。

蔵書点検整理【8月25日(水)～27日(金)】

これまで年に2回(4月と9月)図書館を休館して蔵書の点検整理を行ってきましたが、学生さんの試験時期と重なっていたことから、本年から夏季休業期間中に実施することとしました。本年は、開館後5年ではや狭隘化してきた4階開架書架の図書の移動を行いました。文学書関係は移動書架へ移すなど、ちょっと探しづらくなりましたが、よろしくお願ひします。

皆さんが少しでも使いやすい図書館を目指しますので、今後とも大いに図書館をご利用ください。

(主任司書 中山純一)

借用資料期限内返却のお願い!!

利用者サービス係の一係員のお願いと独り言です。ちょっとだけでいいので、聞いてやってくださいませ。

毎日、毎日督促のことを考えているといやになってしまうのですが、ぜひぜひ、利用者の皆様に、借用資料を期限内に返却していただきたく、この場を借りてお願いしている次第でございます。

最近、返却期限の遅延が多く見受けられるようになっています。

学生については、督促リストを図書館内に掲示し、さらに、毎月学務課の掲示板にも張り出してもらっていますが、掲示を見ているのかいないのか、自分が掲示されていることについてなんとも思わないのか、なかなか返却していただけないのが現状です。

きちんと期限を守って返却していただける利用者もたくさんいる反面、電話連絡してもなお返却していただけない利用者もいます（この件に関しましては、連絡がこないから「ま、いっか」というわけにはいきません。いずれははっきり決着をつけようと思っています）。

また一方では、借用したい資料があると返却してくるといふ利用者が少なくなき、ありがたいことに督促という業務を大変面倒にしてくれています。

借用者自身が図書館の資料を独占しているということに気が付かないのか、まさか自分さえ良ければよいと思っているわけではないと思いますが、他の利用者が困っているということも理解しておいていただきたいと思えます。自分が借用したいときに返却期限が切れた状態で借用になっていたらなんと思えますか、少しだけでも考えていただきたいと思えます。

毎週、毎月の督促の業務は大変面倒であり

（仕事がいやだとか言っているわけではないのです。きちんと期限を守って返却していただければ、しなくていい業務であるために言っているのですが）学務課に掲示していただくときには、一応返却されていないかどうか、館内の資料を調査してから掲示用のリストを作成しています。当然のことですが、この調査する冊数が増えれば増えるほど、たくさんの時間がかかってしまうのであります。

最近思うには、資料の返却ルールを厳格に守っていただきたいと思い始めています。

たとえばですが、1ヶ月以上返却いただけない利用者に対しては、自動的に図書館の入館を止めてしまう。夜間開館の利用も合わせて止めてしまってもいいのではないかと。

また、資料を返却していただいても、延滞していた日数分だけ、すぐには貸出しができないようにし、返却後、延滞日数が過ぎた段階で貸出しできるようにするとかのペナルティを課してもいいのではないかしらと思っています。

それでも返却してもらえない学生には、これまでも行ってきたことですが、学生担当教員に連絡して、呼び出してもらおうとか、図書館長名で呼び出しをかけるとか、親元まで連絡をとるとかの必要もあるのではないかしらと思っています。あと、借用資料をなくした利用者には、当然ですが購入するなりして、返却していただかなくてはなりません。

今後は期限内に返却されない場合には、何らかのペナルティを課すことなど考える必要があるのではないかしらと思えます。

ちょっと長い独り言になりましたが、皆様、ぜひぜひ返却期限を守って資料をご利用いただきたくよろしくお願ひいたします。

（利用者サービス係 福井 堅一）

寄贈資料のお知らせ

下記の資料をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

【医学部麻酔学講座教授 並木昭義 様】

- ・PCA(自己調節鎮痛)の実際 / 並木昭義, 表圭一編 (WO39 || N47)
- ・すぐに役立つ痛みの看護マニュアル / 並木昭義、川真田樹人編集
(WY160.5 || N64)
- ・よくわかる人工呼吸管理テキスト 改訂第2版第3刷 / 並木昭義、
氏家良人編集 (WO250 || N47)
- ・手術室における麻酔・全身管理エキスパートナーシング 改訂第2版 /
並木昭義、松本真希編集 (WY151 || N 47)
- ・事例から学ぶより安全な麻酔をめざして / 並木昭義、岩崎寛編著
(WO345 || N47)
- ・筋の収縮・弛緩と麻酔薬 (麻酔科医と基礎研究) / 並木昭義、山蔭道明編集
(WO200 || N47)
- ・今日から実践できる VIMA / 並木昭義、山蔭道明編集 (WO277 || N47)
- ・図解やさしい統計学と図表・スライドの作り方 / 並木昭義、山蔭道明編集
(WA950 || N47)
- ・図解体温管理入門 / 並木昭義、山蔭道明編集 (WO500 || N47)
- ・日常診療に役立つ医療ガスと危機管理 / 並木昭義、山蔭道明編集
(WX147 || N48)
- ・敗血症性ショック：新たなる展開 (麻酔科医と基礎・臨床研究) / 並木昭義、
今泉均編集 (WC240 || N47)
- ・麻酔科医とコンサルテーション / 並木昭義、表圭一編 (WO200 || N47)
- ・役に立つ手術室ハンドブック / 並木昭義、渡辺廣昭編集 (WO500 || N47)
- ・日常診療に役立つ疼痛コントロール / 並木昭義編集 (WL704 || N47)
- ・まんが呼吸理学療法の第一歩 / 石川朗, 松本真希共著 (WF140 || 176)
- ・人工呼吸管理の第一歩 / 松本真希著 (WO250 || Ma81)

寄贈資料のお知らせ(続き)

- ・がんの痛み管理の第一歩 / 松本真希著 (QZ266 || Ma81)
 - ・ペインクリニック療法の実際 / 十時忠秀 [ほか] 編集 (WL704 || P16)
 - ・麻酔・周術期管理に役立つ臨床モニター機器の知識と使い方 / 並木昭義、
金谷憲明編集 (WO240 || N4)
 - ・誰にでもできる素敵なプレゼンテーション / 及川慶浩、山蔭道明著
(W26.5 || O32)
 - ・疼痛と鎮痛 (麻酔科医と基礎研究) / 並木昭義、表圭一編集
(WO220 || N47)
 - ・検査・小手術の鎮静法と鎮痛法 / 並木昭義、表圭一編集 (WO200 || N47)
- 2階展示、又は4階開架 計22冊

【保健医療学部看護学第一講座教授 稲葉佳江 様】

- ・成人・高齢者看護のためのヘルスアセスメント / 稲葉佳江編著
(2階展示 WY100.4 || I51)

【札幌医科大学後援会 様】

- ・足部と足関節 / 山本晴康編集 (キャンベル整形外科手術書 10)
(4階開架 WE168 || C14 || 10)

他67冊

【財団法人札幌医科大学学術振興会 様】

- ・よくわかる肺炎のすべて / 佐々木英忠編集 (4階開架 WC202 || Sa75)
- 他35冊

開館時間変更及び休館日のお知らせ

次のとおり開館時間変更及び休館となりますのでお知らせいたします。休館につきましては、IDカードによる特別開館についてもご利用になれませんので、予めご了承ください。

	期 日	開館時間	特別開館時間
平 日	9月6日(月)～	9時00分～20時00分	20時15分～24時00分
土 日	変更はありません。		9時00分～24時00分
休館日	10月10日(日)	基礎医学研究棟電気設備定期点検に伴う停電のため	

図 書 館 日 誌

【平成16年8月】

- 3日(火) ・青森三本木高校図書館見学訪問
生徒50名 引率教員2名
- 4日(水) ・オープンキャンパス
(医学部160名、保健医療学部300名)
・農林水産技術会議事務局筑波事務所研究情報課
視察来館(3名)
- 19日(木) ・2004電子ジャーナル説明会
於：札幌医科大学基礎医学研究棟5階共通会議室
17社30名、17大学41名参加
- 23日(月) ・藤女子大学図書館情報学課程実習生受け入れ 6名
～25日(水)
- 24日(火) ・第47回北海道地区大学図書館職員研究集会
於：北海道工業大学 中山主任司書、丸子係長、
小林主任(企画委員)出席
- 25日(水) ・蔵書点検整理(25日は休館)
～27日(金)
- 27日(金) ・平成15年度北海道地区大学図書館協議会
第3回幹事館会議
於：札幌ガーデンパレス 北越係長出席
・第54回北海道地区大学図書館協議会総会
於：札幌ガーデンパレス 北越係長出席
・保護者懇談会図書館見学 175名参加

札幌医学雑誌の投稿受付について

投稿に際しましては、「札幌医学雑誌投稿規定」を必ずお読みください。「札幌医学雑誌投稿規定」につきましては2002年より改正になりましたので、札幌医学雑誌最新号の投稿規定をご参照ください(札幌医学雑誌 第71巻第5号 平成14年10月より適用)。

なお、「原著論文」、「総説論文」を投稿される方は「札幌医学雑誌への論文投稿にあたって」、また「学位申請論文」、「学位集成論文」を投稿される方は、それぞれ『「学位申請論文」投稿の手引き』、『「学位修正論文」投稿の手引き』がありますので事前にお問い合わせください。

問合せ先：利用サービス係長 大前好子
(内線 2415 > E-mail to: ohmae@sapmed.ac.jp)

附属図書館へのお問合せ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	担当係
図書館利用に関すること	2425	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス係
雑誌に関すること	2426 2416	serial@sapmed.ac.jp	図書管理係
図書に関すること	2426	book@sapmed.ac.jp	
学外利用者の方はこちらから	2417	illr@sapmed.ac.jp	相互利用係
学内利用者の方はこちらから	2418	illo@sapmed.ac.jp	
図書館システムに関すること	2422		図書館システム係
札幌医学雑誌の投稿に関すること	2415	ohmae@sapmed.ac.jp	利用サービス係
図書館の庶務に関すること	2414		総務係
図書館へのご意見ご希望に関する こと	2413	nakayama@sapmed.ac.jp	主任司書

～ SAILING 札幌医科大学附属図書館情報誌 17巻9号 ～

編集・発行 札幌医科大学附属図書館

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

(TEL) 011-611-2111 (代表)

(FAX) 011-641-9646 (図書館直通)

発行日 平成16年9月1日